

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

# 神奈川県自然公園だより

富士箱根伊豆国立公園 丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園



イロハモミジ

## 箱根 ～紅葉最前線～

### 箱根ビジターセンター

箱根は毎年この季節は紅葉の最盛期です。木々の葉っぱに色付きが始まると、箱根全体に非常にたくさんの人たちが集まり、大いに賑わいます。箱根最高峰の神山(1,438m)から紅葉の色づきが始まり、1ヶ月半ほどをかけて、標高の低い湯本・小田原まで紅葉前線が下っていきます。この1ヶ月半という長い期間で紅葉が楽しめるのも標高差のある箱根山ならではの特徴です。

例年、芦ノ湖の周辺や早川沿い等の水に近い木々がきれいに色付きます。水に近い紅葉した木は、土中や空気中から得られる水分が豊富で、葉がしおれたり枯れたりするのが遅くなるので、紅葉が綺麗なまま長続きします。紅葉狩りのポイントとして「水の近く」というのは覚えておいて損はありません。

秋の紅葉が終わると、行楽シーズンは締めくくりになるかもしれませんが、冬もまた美しい情景を楽しむことができます。特に冬は富士山などの展望風景が春夏秋冬の中で一番きれいかもしれません。それはまた後程のお楽しみという事で…。(加藤)



塔ノ沢 吊り橋より

### 【イベント案内】

#### 秦野ビジターセンター

##### ◆自然教室「ミニ登山隊しゅっぱ〜つ!」

内 容:大倉高原コースを、のんびり元気いっぱい登ってみよう!(標高差約300m)

開催日時:12月11日(日) 9:30~16:00頃

集合・解散:秦野ビジターセンター

対 象:4歳~8歳の子どもと保護者 30名(応募者多数の場合は抽選)

参加費:800円

締切日:11月24日(木)

申込方法:往復ハガキに行事名、参加者全員の氏名(ふりがな)・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着で秦野ビジターセンターまでお送りください。詳細は締切後にご連絡いたします。

##### ◆巡回企画展「丹沢のお山にかいだんつくっています!」

内 容:なぜ山に階段をつくるのか?土壌流出問題やオーバーユースの取り組みについて分かりやすく紹介します。

主 催:神奈川県自然環境保全センター

開催期間:10月8日(土)~12月11日(日)

展示場所:秦野ビジターセンター 展示室

※入館無料、開館中はいつでもご覧いただけます。

開館時間:9:00~16:30

※期間中の休館日:月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日(土日は開館)

### 自然公園へでかけよう



#### 環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164

Tel 0460-84-9981

<http://www.mm.jp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

#### 県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下 1513

Tel 0463-87-9300

<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanove/>

#### 県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9

Tel 0465-78-3940 Fax 0465-78-3940

<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

開館日、開館時間等は各ビジターセンターまでお問合せください。

宮ヶ瀬ビジターセンターは、平成28年3月31日をもって閉館いたしました。

# 西丹沢の紅葉見どころスポット 西丹沢自然教室



丹沢湖周辺



用木沢



高指山のブナ

毎年、紅葉の時期に関する問合せにお答えしているところですが、丹沢は標高差があるので楽しめる期間が長いことが特徴です。色々な木々があるので紅葉の色も楽しむことができます。

登山をされる方は、色づく紅葉を間近で見たり、眼下の光景を見下ろしたりして楽しめるのはもちろん、ドライブで来られる方も丹沢湖周辺は眺望がよいので山々を一望することができます。この時期は、西丹沢を訪れる人が一年の中で最も多くなりますが、どんな方でも美しい自然を楽しむやすいのが理由の一つではないでしょうか。

いくつかのスポットを紹介します。ブナの紅葉を楽しむなら高指山、明神峠、畦ヶ

丸、檜洞丸などの山頂付近が10月中旬頃から。カエデの紅葉を楽しむなら西丹沢自然教室周辺で11月初旬頃、丹沢湖畔の11月下旬～12月上旬頃、沢沿いなら玄倉、西沢、用木沢がお勧めです。眺望を楽しむなら丹沢湖にある千代の沢園地や車で山頂近くまで行ける大野山山頂があります。他にも時期によりいろいろ紹介できますので、西丹沢自然教室までお気軽にお問い合わせください。(澤田)

## 落ち葉には魅力がいっぱい

目を楽しませてくれた木々たちは葉を落とし始め、錦の絨毯が出来上がっています。そんな落ち葉でちょっと遊んでみませんか？

葉の上に薄い紙を乗せてクレヨンでこする「こすりだし」。紙の上に葉や小枝を使って絵をつくる「お絵かき」。司会者を決めて、その人が出すお題に合わせて集めてきた葉を出す「葉っぱじゃんけん」。色々な葉をひろってきて、グラデーションのように色別に並べたり、ギザギザ具合で並べたりす

## 秦野ビジターセンター

る「葉っぱ並べ」。並べたものを他の人に見てもらって、法則を当ててもらったりするのも面白いです。

葉のギザギザの具合、虫に食べられた痕、触り心地…「これは最高」といういち押しの葉を見つけられるかもしれません。同じ種類の葉でも、ひとつひとつ違います。じっくり見て違いを探してみてください。紅葉だけでなく、落ち葉も楽しんでみませんか。(山口)



落ち葉でお絵かき



色々な色や形の落ち葉